

役に立つかもしれないシリーズ6「ゴルファー保険編」

三井住友海上火災保険(株) 名古屋企業営業第二部長 中野善夫 (名古屋名駅RC)

今回は、「ゴルファー保険」の留意点や選び方について、お話をしたいと思います。

1. ゴルファー保険の補償内容は

ゴルファー保険を扱う保険会社は、基本的にどの保険会社も以下の4つの補償がある保険を取り扱っています。

ただし、保険会社ごとに補償内容・金額や特約等が異なりますので、加入されている契約内容をもしもの時のために確認しておくことをお勧めします。

■ 賠償責任保険（ゴルファー）

・・・ゴルフの練習中やプレー中に他人にケガを負わせたり、他人の物を壊したりした場合に補償されます。ゴルファー保険の基本契約になります。

■ ホールインワン・アルバトロス費用補償特約

・・・日本国内の9ホール以上有するゴルフ場でホールインワンやアルバトロスを達成した際に、慣習として発生する記念品等の費用、祝賀会費用、記念植樹費用、キャディへの祝儀等が補償されます。アマチュアゴルファーのみが対象となります。

■ ゴルファー傷害補償特約

・・・ゴルフ場やゴルフ練習場で自分がケガをした場合に補償されます。

■ ゴルフ用品補償特約

・・・ゴルフ場やゴルフ練習場でゴルフ用品が破損したり盗まれたりした場合に補償されます。なお、置き忘れ、紛失は対象外になります。

2. ホールインワン・アルバトロス費用補償特約の留意点は

ホールインワンやアルバトロスを達成すれば無条件に保険金が支払われるわけではありません。ホールインワンやアルバトロスを証明するために、(1) 同伴競技者 (2) 同伴競技者以外の第三者 (同伴キャディ等) の目撃証明と署名が必要となります。

セルフでのプレーが増えていることから、セルフプレーでキャディを同伴していない場合は、同伴キャディの目撃証明に替えてゴルフ場使用人、ゴルフ場内の売店運営業者、ワン・オン・イベント業者、先行・後続のパーティーのプレーヤーの目撃証明や、記録媒体に記録された映像等によりホールインワンまたはアルバトロスの達成を客観的に確認できる資料のいずれかを提出できれば補償されます。

なお、ホールインワン・アルバトロス費用を補償する保険に複数加入していても、支払額は合算されず、最も高い保険金額が限度となりますので注意が必要です。